

事務の管理及び執行状況
の点検・評価実施報告書
(平成28年度実績)

平成30年2月
由利本荘市教育委員会

目 次

1	点検・評価の趣旨等	1
2	点検及び評価の概要	1
3	学識経験者の知見の活用	1
4	教育委員会の活動状況	2
	(1) 会議の開催状況	
	(2) 教育委員の活動状況	
	(3) 計画の策定状況	
	(4) 市民への情報提供の状況	
5	主要施策・事業等の実施状況と評価	5
	【学校教育部門】	
	(1) 確かな学力の形成	5
	(2) 開かれた学校づくり	7
	【社会教育部門】	
	(1) 読書の大切さの啓発と読書活動の推進	8
	(2) 生涯学習・社会教育・公民館活動の推進	9
	(3) 社会教育施設の管理運営	10
	【スポーツ振興部門】	
	(1) 生涯スポーツ・レクリエーション・体力づくりの推進	11
	(2) 指導者の養成	12
	(3) スポーツ施設の整備充実	13
	(4) プロスポーツチームへの支援とチームとの連携による スポーツ振興	14
	【文化振興部門】	
	(1) 芸術文化の振興	15
	(2) 文化財保護活動の推進	17
	【教育環境整備部門】	
	(1) 学校環境適正化の推進	19
	(2) 学校施設の整備	20

1 点検・評価の趣旨等

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正され、「教育委員会の責任体制の明確化」を目的として、同法第26条に「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等」が規定されました。

この規定に基づき、平成20年4月から、全ての自治体の教育委員会自らが、毎年、その教育行政事務の管理及び執行状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、これを公表することが義務づけられました。

由利本荘市教育委員会においては、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすため、平成21年度（20年度実績）から事業の点検及び評価を実施し、報告書にまとめ、議会に提出するとともに公表しております。

今年度においても、同法の趣旨を踏まえ、各教育分野の施策及び重点事業等の執行状況について点検及び評価を行い、今後、より効率的な教育行政の推進を図っていくものです。

<参考>

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に関する事務（同条第4項の規定により事務局職員に委任された事務を含む。）を含む）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検及び評価の概要

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条」で、教育委員会の職務権限とされている事務のほか、教育委員会で所管するすべての事務を対象としますが、点検・評価にあたっては、「由利本荘市の教育」に掲げる施策を13項目17事業に集約し、実施しております。

3 学識経験者の知見の活用

学識経験を有する者の知見の活用について、本市教育委員会では、由利本荘市社会教育委員の会会長の伊藤孝紀氏、由利本荘市PTA連合会副会長の村上里和氏にご意見をいただいております。

4. 教育委員会の活動状況

(1) 会議の開催状況

期 日	付 議 案 件
H28. 4. 26 (定例会)	議案第19号 由利本荘市教育委員会事務委任規則の一部改正について 議案第20号 由利本荘市教育支援委員会委員の委嘱について 議案第21号 由利本荘市社会教育委員の委嘱について 議案第22号 由利本荘市公民館運営審議会委員の委嘱について 報 告 平成28年度大内小学校コミュニティ・スクール運営協議会について
H28. 5. 27 (定例会)	議案第23号 民俗芸能伝習拠点施設建設工事請負契約の締結について 議案第24号 由利本荘市公民館運営審議会委員の委嘱について 議案第25号 由利本荘市ポートプラザ運営委員会委員の委嘱について 報 告 ・第2回学校給食センター準備検討委員会及び第3回学校環境適正化検討委員会について ・民俗芸能伝習拠点施設の愛称募集について ・文化庁主催「埋蔵文化財保護行政説明会」の開催について
H28. 6. 30 (定例会)	議案第26号 由利本荘市教育委員会委員の議席指定について 議案第27号 由利本荘市教育委員会委員長の選挙について 議案第28号 由利本荘市教育委員会委員長職務代理者の互選について 協 議 西目幼稚園の今後の運営について 報 告 ・6月定例市議会の一般質問答弁概要 ・第4回学校環境適正化検討委員会及び第3回学校給食センター準備検討委員会について
H28. 7. 25 (定例会)	議案第29号 由利本荘市体育館条例の一部改正について 議案第30号 由利本荘市勤労青少年ホーム条例施行規則の廃止について 議案第31号 由利本荘市運動公園条例等の一部改正について 報 告 ・(仮称) 北部学校給食センター建設候補地提言書について ・スポーツ振興計画(案)について
H28. 8. 8 (臨時会)	議案第32号 由利本荘市スポーツ振興まちづくり条例の制定について
H28. 9. 29 (定例会)	報 告 ・9月定例市議会の一般質問答弁概要について ・学校環境適正化アンケートについて ・由利本荘市スポーツ振興計画について
H28. 10. 7 (協議会)	協 議 児童の安全保護対策について
H28. 10. 31 (定例会)	議案第33号 由利本荘市モデル木造施設条例の一部改正について 議案第34号 由利本荘市民俗芸能伝承館条例の制定について 議案第35号 由利本荘市営スキー場条例の一部改正について 議案第36号 由利本荘市図書館条例施行規則の一部改正について 報 告 ・学校環境適正化アンケートについて ・(仮称) 北部学校給食センターについて

H28. 11. 14 (総合教育 会議)	(1) 総合教育会議の経緯 (2) 平成28年度の教育施策について (3) 不登校・いじめの実態について (4) 学校環境適正化について (5) 北部学校給食センター建設について (6) 「スポーツ立市」の推進について (7) 地域未来塾(地域による子どもたちの学習支援)について (8) 「菖蒲崎貝塚」の国史跡指定に向けて
H28. 11. 21 (定例会)	議案第37号 平成29年度由利本荘市立小・中学校教職員人事異動方針について
H28. 12. 22 (定例会)	議案第38号 職員の懲戒等について 報 告 12月定例会市議会の一般質問の答弁概要
H29. 1. 27 (定例会)	報 告 ・北部学校給食センターについて ・通学路安全推進会議について ・いじめ問題対策連絡協議会について ・学校私費会計経理検査について ・指導要録システム賃貸借について ・市民スキー大会について ・「まいーれ」シンボルマークについて
H29. 2. 17 (定例会)	議案第1号 由利本荘市民俗芸能伝承館条例施行規則の制定について 議案第2号 由利本荘市モデル木造施設条例施行規則の一部改正について 議案第3号 事務の管理及び執行状況の点検・評価実施報告書(平成27年度実績)(案)について 報 告 ・由利本荘市健康増進施設に関する条例の一部改正について ・由利本荘市民俗芸能伝承館資料取扱要綱の制定について
H29. 2. 28 (臨時会)	議案第4号 平成28年度由利本荘市立小中学校教職員の人事異動について
H29. 3. 24 (定例会)	議案第5号 平成29年3月31日付由利本荘市教育委員会職員の人事異動について 議案第6号 平成29年4月1日付由利本荘市教育委員会職員の人事異動について 議案第7号 平成29年度「由利本荘市の教育」について 議案第8号 平成29年度教育費予算について 議案第9号 由利本荘市指定文化財の指定について 議案第10号 由利本荘市スポーツ推進委員の委嘱について 協 議 西目幼稚園 民営化計画(案)について 報 告 3月定例会市議会の一般質問答弁概要

(2) 教育委員の活動状況

①学校訪問

月 日	訪 問 校	月 日	訪 問 校
6月16日	岩谷小・矢島小	11月4日	岩城小
6月17日	由利中	11月7日	大内小
6月20日	新山小	11月14日	子吉小
6月21日	子吉小・大内小	11月16日	矢島小・矢島中
6月23日	東由利中	11月17日	小友小
6月24日	鳥海中	11月22日	本荘東中
6月27日	大内中	11月24日	鳥海小・鳥海中
6月28日	小友小	11月25日	東由利小・東由利中
6月29日	西目幼稚園		
6月30日	鶴舞小		
7月1日	尾崎小		
7月5日	西目小		
7月6日	西目中・本荘東中		
7月7日	鳥海小		
7月8日	由利小・矢島中		
7月11日	本荘北中		
7月12日	岩城小・岩城中		
7月13日	石沢小・本荘南中		
7月19日	東由利小		

②諸会議・研修等

月 日	会 議 名 等	場 所
4月20日 ～21日	東北都市教育長協議会定期総会	福島市
5月18日 ～21日	第68回全国都市教育長協議会定期総会	徳島市
5月26日	全県市町村教育委員会委員長・教育長会議	秋田県庁第2庁舎
7月14日 ～15日	教育委員県外研修	宮城県東松島市・松島市
8月26日	秋田県市町村教育委員会連合会及び秋田県都市教育長協議会合同研修会	秋田県生涯学習センター
11月18日	全県市町村教育委員会委員長・教育長会議	秋田県庁第2庁舎

(3) 計画の策定状況

- ・「由利本荘市スポーツ振興計画」……平成28年9月策定

(4) 市民への情報提供の状況

- ・市広報及び市ホームページを活用して情報を提供している。

5. 主要施策・事業等の実施状況と評価

		分野	学校教育部門
項目	(1) 確かな学力の形成	担当課	学校教育課
点検・評価対象事業名		① 由利本荘市教職員研修会	
事業の目的			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会の変化の主な動向等に着目しつつ、今後求められる資質や能力を効果的に育成する観点から指導の充実を図る。 ○ 生きる力をはぐくむことを目指し、言語活動の充実、体験型理数教育の推進、グローバル人材の育成等、主体的に学習に取り組む態度を養う指導の在り方について研修を深める。 			
事業の実施状況			
○ 春季教職員研修会 ○ 夏季教職員研修会 ○ 冬季教職員研修会			
点検評価及び説明	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 春季教職員研修会（4月13日） <ul style="list-style-type: none"> ・年度の初めに当たり市内小中学校の全職員が一堂に会し、各課所管の事業について説明すると共に、教育長より本年度の本市教育の重点が示された。 ○ 夏季教職員研修会（8月9日） <ul style="list-style-type: none"> ・午前は、にかほ市と合同で「新たな学びに関する教員の資質能力向上のためのプロジェクトー秋田県実践フィールド校の取組からー」と題し、独立行政法人教員研修センター研修員 稲岡寛氏より御講演いただき、教職員に求められる資質等について研修を深めることができた。 ・午後の前半は、株式会社ベネッセコーポレーションの深井一慶氏を講師に迎え、本市で初めて実施した「総合学力調査」の結果分析等について、市全体の傾向、各校、個人の調査結果の活用等も含めて研修した。 後半は、学習指導において成果を挙げている岩谷小学校と本荘南中学校の研究主任より、諸調査への取組と結果分析、授業改善について発表してもらった。 ○ 冬季教職員研修会（1月11日） <ul style="list-style-type: none"> ・午前は、「主体的・対話的で深い学びを目指して」というテーマの下、文部科学省等の委託事業に取り組んでいる4つの小学校区（小4校、中3校）の実践発表から学ぶ「セレクト研修」を実施した。実際の授業を再現したり、使用した指導案等を紹介したりすることで、主体的に研修に取り組むことができた。 午後は、教育長講話の後、教職員による各種視察報告や代表生徒5名及び引率教諭による「箕面市との中学生交流報告」を行った。各報告とも、写真や資料を多用した、分かりやすい発表であり、参加者の評価も高かった。他県や他市の実践に学ぶことの重要性を感じる研修となった。 			
今後の課題及び改善策・方向性			
○ これまで課題となっていた、「参加する教職員にとって必要感があり、かつ実効性のある研修への転換」がある程度図られたものと感じている。新学習指導要領への対応、更なる授業改善に向けて、教職員一人一人の研修意欲を喚起できるよう、研修内容の更なる充実を図っていく。			
学識経験者の意見			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 教職員研修は非常に大切であると考えている。特に年度初めの研修会は、本市の「教育指針」を全ての教職員が共有できるものであり、大変意義深い。このような取り組みが、本市の教育成果に繋がっていると考えている。 ○ 著名な講師を招聘する研修は非常に良い。教職員が自らを高めようと積極的に学ぶ姿が見られ、大いに評価できる。 ○ 市外の教職員が多く配置されている本市において、教職員の資質を高める研修会を定期的に行っていることは、保護者や地域に対しても信頼感と安堵感を与えていることに繋がり、非常に意義深い。 			

		分 野	学校教育部門
項 目	(1) 確かな学力の形成	担 当 課	学校教育課
点検・評価対象事業名	② 「理数教育」 推進事業		
事業の目的	<p>○由利本荘市の学校教育の主題「科学的な探究心をはぐくみ、確かな学力を身に付けさせる教育の推進」を具現化するとともに、本物の科学等に実際に触れる体験型の学習を通して、知識を活用する能力や問題を発見し解決する能力を養い、科学を楽しむ心や学習意欲の向上及び指導者の教育技術の向上を図る。</p>		
事業の実施状況	<p>NPO法人体験型科学教育研究所リアルサイエンスによる事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ○講師による出前授業 ○リアルサイエンス研修会 ○リアルサイエンス講演会 		
点 検 評 価 及 び 説 明	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる	
	<p>○夏季リアルサイエンス研修会（小・中学校教員対象） 講師：NPO法人体験型科学教育研究所 古川 和 氏、小林 道正 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新指導要領を意識した授業づくりのポイントに関する講話 ・気象分野の需要で活用できる簡易実験の紹介 ・簡易顕微鏡の製作方法の紹介 等 <p>○出前授業 講師：愛知淑徳大学大学院教授 松丸 剛 氏 会場：石沢小・由利中（算数・数学） 西目小・矢島中（理科）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学校で、実際の操作活動を通してながら主体的に学ぶ児童生徒の学習が提示された。各協議会では、単元構成や学習教材の工夫に関する講話及び意見交換が行われた。 <p>○リアルサイエンス講演会(市内中学2年生全員対象) 講師：NPO法人ガリレオ工房理事長 滝川 洋二 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・光をテーマとした演示実験や、実際に手でLED等を操作する場があり、生徒たちは高い関心をもって取り組むことができていた。 		
今後の課題及び 改善策・方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○NPO法人リアルサイエンスという組織は解消となったが、関係者との連携を図り、今後も協力体制を維持していく。 ○児童・生徒の理数に対する関心を高めるため、今後も著名な教育関係者による公開授業、講演会、出前授業を実施する。 ○各学校、教育専門監、CT教員等と連携し、科学的な探究心が確かな学力につながる手法について開発を進めるとともに、市内小・中学校の授業改善を図る。 		
学識経験者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ○大学教授等専門家から直接学ぶ機会を持つことは、子どもに非常に良い学びと刺激を与えている。特に理数分野は学びの発展に繋がり、探究心を高めるうえでも効果的であり、非常に良い事業である。大いに評価したい。 ○中身の濃い有意義な事業であり、今後も続けていただきたい。市内全ての子どもたちが学べるよう、多くの学校を会場にして行っていただきたい事業である。 		

		分野	学校教育部門
項目	(2)開かれた学校づくり	担当課	学校教育課
点検・評価対象事業名	コミュニティ・スクール		
事業の目的	<p>○学校経営に地域の願いを大きく取り入れ、学校運営の方針について学校運営協議会の承認を得るとともに、学校・家庭・地域が学校の現状と課題について共通理解を深めて相互連携し、学校経営の改善への協力を促進し、学校・家庭・地域が一体となった開かれた学校づくりに資する。</p>		
事業の実施状況	<p>○各小・中学校の「学校運営協議会」及び中学校区ごとの「地域運営協議会」の定期的な開催</p> <p>○各学校運営協議会での学校における具体的な目標の検討</p> <p>○目標と具体的方策の周知</p> <p>○各学校における自己評価</p> <p>○学校運営協議会による評価の実施</p> <p>○結果の公表</p>		
点検評価及び説明	<p>■目標を上回る <input type="checkbox"/> ほぼ目標どおり</p> <p><input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる</p>		
	<p>○学校運営協議会は、平成27年度からすべての小・中学校に設置され、コミュニティ・スクールとして歩み始めることができた。その協議会の中であきた型学校評価システムも実施されており、各小・中学校ではPDCAサイクルで評価を行っている。学校運営協議会では、それぞれの立場から意見を述べ、学校の運営に参画するとともに評価している。</p> <p>○具体的な目標、方策、評価、改善点等が、地域や保護者に公表されることで、地域に根ざした教育活動の推進につながっている。</p> <p>○平成28年7月29日、本市開催の「全国コミュニティ・スクール研究大会in由利本荘」では、本市の岩城地域運営協議会、東由利地域運営協議会の実践発表を含めて、千百人強が参加する中、全国の先進的な実践を学び合うことができた。</p>		
今後の課題及び改善策・方向性	<p>先進地視察を通して学んだことをそれぞれの「地域運営協議会」及び「学校運営協議会」に生かし、より一層機能させて地域とともにある学校づくりを更に充実させる。</p> <p>方向性：「市の未来を託せる人材の育成」に向けた学校運営協議会（コミュニティ・スクール）のさらなる充実を図る</p> <p>①首長部局との協働による市の未来を託す人材の育成プログラムの推進</p> <p>②学校・家庭・地域の課題解決に向けたコミュニティ・スクールの推進</p> <p>③児童生徒の参加による熟議の開催</p>		
学識経験者の意見	<p>○これからも積極的に進めて頂きたい事業である。</p> <p>○地域の方々が多く学校を訪れるようになってきており、事業の成果が着実にみられるようになってきていることから、大いに評価できる。</p> <p>○長くなるとマンネリ化を繋がることもあるので、毎年度積極的に取り組む姿勢が必要であると考えます。各学校の特徴を活かした取り組みに期待したい。</p> <p>○CS全国大会は非常に大きな成果があった。全国各地の状況を聞き、学ぶことができた点で、大会開催の意義は深い。</p> <p>○地域と学校の繋がりは確実に深まってきている。今後もより連携して続けていただきたい。</p>		

		分野	社会教育部門	
項目	(1)読書の大切さの啓発と読書活動の推進	担当課	生涯学習課	
点検・評価対象事業名		子どもの読書活動推進事業		
事業の目的		<p>○子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるために、家庭、地域、保育園、幼稚園や学校と連携し相互に協力を図りながら市民全体への啓発活動に取り組む。 「由利本荘市子どもの読書活動推進会議」と連携し、全ての地域での読み聞かせ事業を展開しながら子ども読書、親子読書の活動を推進する。</p>		
事業の実施状況		<p>○会議・研修会等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年 5月19日 企画部会 ・平成28年 6月 3日 第1回子ども読書活動推進会議 ・平成28年 6月30日 研修部会 ・平成28年 9月20日 ボランティア部会 ・平成28年11月 9日 広報部会 ・平成29年 2月21日 子ども読書活動推進会議年度末会議 <p>○事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年 8月 6日 読み聞かせ・学校図書館ボランティア等交流研修会 ・平成28年10月17日 おはなしフェスティバル開催 ・平成29年 2月21日 「心にとどけスマイル便第10号」発行 「スマイルひろがり便第1号」発行 <p>○読み聞かせボランティア派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年 <ul style="list-style-type: none"> 5月20日 上川大内保育園 6月 3日 岩谷小学校 6月21日 ゆり支援学校 9月 7日 ゆり保育園 9月15日 本荘保育園 9月23日 若草幼稚園・保育園 9月29日 石沢保育園 10月 4日 ゆり支援学校 10月 6日 上川大内保育園 10月26日 石脇北保育園 11月 2日 石脇西保育園 11月 9日 ゆり支援学校 11月21日 ゆり支援学校 12月 7日 石脇西保育園 12月14日 本荘保育園 12月16日 石脇東保育園 ・平成29年 <ul style="list-style-type: none"> 1月17日 内越保育園 		
点検及び評価		<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる		
評価説明		<p>○各部会の活動は積極的になされており、成果もあがっている。 ○西目小学校の献身的なご協力により、とても有意義な研修会を開催することができた。参加者も53名とこれまでの最高となった。 ○保護者向けチラシ「心にとどけスマイル便10号」と共に、子どもの読書活動推進会議広報誌として「スマイルひろがり便1号」を発行することにした。</p>		
今後の課題及び改善策・方向性		<p>○推進会議全体の方向性や将来の構想、改善点などについての協議が少ないとの反省から、新たに会長や各部の部会長等で構成する企画部会を設けた。 ○28年度からおはなしフェスティバルをボランティア部会が担当し、「読み聞かせ・学校図書館ボランティア等交流研修会」を研修部会が担当することにした。</p>		
学識経験者の意見		<p>○「ボランティア交流研修会」は非常に意義あるものであり、高く評価したい。これからも続けていただきたい。 ○各地区、地域などで継続して行うのは大変なことだと思う。ボランティアの方々の努力を高く評価したい。読書活動は非常に大切な活動であるので、今後の活動に期待したい。</p>		

		分野	社会教育部門
項目	(2)生涯学習・社会教育・公民館活動の推進	担当課	生涯学習課
点検・評価対象事業名	・学社連携・融合の推進事業		
事業の目的	○地域社会全体で子どもたちを育むことを目的に、子どもの学習支援を中心に各機関・団体・学校等との連携を深め、ボランティア等地域の人材の活用を積極的に図りながら地域の教育力の向上を図る。		
事業の実施状況	<p>○放課後子ども教室の実施（文部科学省補助事業：国・県・市各1/3負担）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後の子どもの安心・安全な居場所として、学習を中心とした活動を実施。 ・市内小学校14校（14教室）で通年開設。 ・延べ開催回数 1,221回、延べ参加児童数 45,419人、延べスタッフ数 3,822人 ・事業費総額 6,142千円 <p>○学校支援地域本部事業（文部科学省の補助事業：国・県・市各1/3負担）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内全小中学校（小学校14校、中学校10校）を対象とし、中学校単位で10本部を設置。 ・学習支援、環境整備、安全確保、図書ボランティア、学校行事などに地域住民が積極的に参画し学校の活動を支援。 ・事業費総額 1,390千円 		
点検評価及び説明	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる	
今後の課題及び改善策・方向性	<p>○放課後子ども教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度実施できなかった岩城小学校、統合した大内小学校と人材確保、教室運営について協議を重ね、すべての小学校で実施できる体制を整えることができた。このため、参加児童数が前年度よりも大幅に増加した。 <p>○学校支援地域本部事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度に全小中学校に拡大実施。（国・県・市が1/3ずつの補助事業）。学校の要請を受け地域コーディネーターと学校支援ボランティアが連携し、学習・環境整備・学校行事等を支援することができた。活動日数967日、参加人数11,496人 		
学識経験者の意見	<p>○地域の協力が不可欠な難しい事業である。高く評価したい。引き続き体制を維持しながら、子どもたちの安心・安全のため努力していただきたい。</p> <p>○「学校支援地域本部事業」は素晴らしい取り組みである。引き続き地域の支援を得ながら、コミュニティ・スクールとの連携を深め、事業を推進していただきたい。</p> <p>○「放課後子ども教室」に対し、多くの方の協力をいただいていることに感謝したい。子どもたちのため、引き続き頑張ってください。</p>		

		分野	社会教育部門
項目	(3)社会教育施設の管理運営	担当課	生涯学習課
点検・評価対象事業名	・社会教育関係施設の整備事業		
事業の目的	○市民にとって身近な公民館等の社会教育関係施設の維持管理と整備を図る。		
事業の実施状況	<p>○石沢地区多目的集会施設建設整備事業 148,722千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度繰越事業分(既存施設解体、設計委託等) 28,731千円 ・平成28年度事業分(本体建築、車庫等建築、備品整備等) 119,991千円 <p>○鮎川学習センター老朽化改修事業(土台、庇等改修) 7,060千円</p> <p>○大内農村環境改善センター改修事業(エアコン老朽化等改修) 38,534千円</p> <p>○八塩生涯学習センター利活用事業(民俗資料展示公開施設整備等) 3,716千円</p> <p>○紫水館照明設備改修事業(照明設備LED対応改修) 7,311千円</p> <p>○西目公民館外壁等改修事業(外壁、屋上防水、非常用照明等改修) 61,616千円</p> <p>○上記のほか、修繕多数実施。</p>		
点検評価及び説明	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる	
	<p>○石沢地区多目的集会施設(ウッデーホールこだま新館「きずな」)が竣工した。</p> <p>○老朽化の進んだ社会教育関係施設の改修事業等を実施することができた。</p>		
今後の課題及び改善策・方向性	<p>○耐震診断・耐震補強は平成26年度で完了している。</p> <p>○各施設において、経年劣化により大規模な修繕が必要となってきたことから、緊急性や市民サービス向上を考慮しながら対応していく。</p>		
学識経験者の意見	<p>○石沢地区多目的集会施設(ウッデーホールこだま新館「きずな」)が計画通り竣工できたことは、非常に嬉しい。大いに評価したい。</p> <p>○市内には多くの社会教育施設があり、老朽化に伴う改修も大変であると思うが、子どもたちにとっても安心して使用できる、「安心・安全な施設」になるよう、緊急性やサービスの向上を考慮しながら、計画的に環境整備に努めていただきたい。</p>		

		分 野	スポーツ振興部門
項 目	(1) 生涯スポーツ・レクリエーション・体力づくりの推進	担 当 課	スポーツ課
点検・評価対象事業名	・各種スポーツ教室、スポーツ大会開催事業		
事業の目的	○生涯スポーツとレクリエーション活動の普及のため、全市またはブロック単位で各種スポーツ教室やスポーツ大会を開催し、市民のスポーツ振興を図る。		
事業の実施状況	<p>○スポーツ振興まちづくり条例の制定とスポーツ振興計画を策定し、10月10日には「スポーツ立市由利本荘」宣言を行った。式典出席者数 約700人</p> <p>○チャレンジデーへの参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対戦相手：兵庫県豊岡市 参加者数66,810人、参加率82.8% <p>○スポーツ教室の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地域各スポーツ教室 4,862人 ・遊泳館水泳教室(水泳・アクアビクス・水中ウォーキング・ベビースイミング)年間参加者合計 521人 <p>○市民スポーツ・レクリエーション大会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・300歳以上ソフトボール大会：26チーム ・男女混合バレーボール大会：22チーム ・市ユニホック大会：16チーム ・クロスカントリーレース：452名 <p>○地域間交流事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奥羽横断駅伝競走大会：30(1)チーム、秋田25市町村対抗駅伝ふるさとあきたラン：34(1)チーム、全国市町村交流レガッタ大会：128(7)クルー、いわきサンシャインマラソン：10,865(2)名、横荘線メモリーウォーキング：101(50)名、ほか各教育学習課による連携事業の開催 		
点 検 評 価 及 び 説 明	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる		
	○スポーツ推進委員や体育協会と連携し各種スポーツ教室の開催により、子供から高齢者までの活動を推進するとともに、競技団体との連携による大会運営等、市民のスポーツ活動の推進に積極的に努めた。		
今後の課題及び 改善策・方向性	<p>○各地域で開催されるスポーツ教室や大会等を、複数地域でのブロック開催の検討や、より多くの市民がスポーツに親しめるような環境整備を図る。</p> <p>○全市を対象とした大会が、本荘地域からの参加が中心となっているため、各教育学習課を通じ各地域からの参加を促す。</p>		
学識経験者の意見	<p>○「スポーツ立市由利本荘」に相応しいスポーツ活動の推進に努め、引き続き多くの市民が参加できるよう、PRに努めていただきたい。</p> <p>○30年度に完成する「由利本荘アリーナ」に大いに期待したい。アリーナを活用し、特色ある事業の推進に期待したい。</p> <p>○チャレンジデーが本市に定着し、毎年順調に進められていることを非常に嬉しく思う。高く評価したい。引き続き各地域の取り組みに期待したい。</p> <p>○ニュースポーツの普及に努めるとともに、高齢者や冬期間楽しめるスポーツの振興にも努めていただきたい。</p>		

		分野	スポーツ振興部門
項目	(2) 指導者の養成	担当課	スポーツ課
点検・評価対象事業名	・指導者の養成と資質の向上のための事業		
事業の目的	<p>○体育協会加盟団体においては、各競技の普及・拡大を図るため、競技団体が主体的にジュニア層の育成強化や指導者の養成を行いながら、競技の持続的な発展に結びつける。</p> <p>○スポーツ少年団員を安全かつ適正に指導してもらうため、認定員養成講習会を開催し、指導者の資質の向上を図りながら指導者と保護者が共通した認識のもとで団活動を推進していく体制整備を行う。</p>		
事業の実施状況	<p>○スポーツ少年団認定員養成講習会の開催 5/28～29 西目会場受講者61名（年度合計受講者160名） 【由利本荘市・にかほ市スポーツ少年団連絡協議会事業】</p> <p>○スポーツ少年団指導者研修会・安全講習会の開催 参加者77名 11/19 指導者研修会（講演）「アクティブ・チャイルド・プログラムの活用」 講師：東京学芸大学 教育学部 健康スポーツ科学講座 准教授 佐藤善人氏 安全講習会（実技）「ケガ予防のストレッチ」 講師：日本体育協会スポーツリーダー 齋藤真弓氏</p>		
点検評価及び説明	<p>■目標を上回る <input type="checkbox"/> ほぼ目標どおり</p> <p><input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる</p> <p>○認定員養成講習会を開催し、指導者と保護者が共通した認識のもとで、円滑な団活動ができるように推進した。</p> <p>○ジュニア育成における指導現場での指導者の役割・コーチングとケガ予防に効果的なストレッチ講習会を実施したことで、これまでの指導方法を見つめ直す機会となった。</p>		
今後の課題及び改善策・方向性	<p>○継続して認定員養成講習会を実施し、指導者並びに保護者が少年期のスポーツ活動について共通した認識を持った上で、適正な活動を継続していく。</p> <p>○指導者連絡協議会を開催し、活動の指針等の確認を継続して行う。</p> <p>○生涯スポーツ推進のためにも、スポーツ推進委員が研修会等に参加できる環境整備に努める。</p>		
学識経験者の意見	<p>○講習会で知識と技能を習得した指導者が、保護者と共通認識のもとでスポ小活動を推進していることを評価したい。中でも、本市が取り組んでいる全市共通の「活動指針」が、全県共通の「活動指針」の基盤になったことを高く評価したい。</p> <p>○スポーツ推進委員が献身的に協力いただいていることに感謝したい。今後も推進員を中心に、スポーツ活動の推進に尽力いただくとともに、市の賑わいづくりにも繋げていただきたい。</p> <p>○「ミニチャレンジデー」の取り組みは本市独自のものであり、定着化していることから、大いに評価したい。</p>		

		分野	スポーツ振興部門
項目	(3) スポーツ施設の整備 充実	担当課	スポーツ課
点検・評価対象事業名	・既存体育施設の改修整備		
事業の目的	○スポーツ・レクリエーション活動の拠点となるスポーツ施設の整備を図り、市民に運動の場を提供し、その有効利用を促進する。		
事業の実施状況	<p>○由利教育学習課 25,301千円 B & G 由利海洋センター改修工事 (体育館屋根・外壁塗装)</p> <p>○東由利教育学習課 102,746千円 東由利野球場改修工事(2期工事) (天然芝・スコアボード・内外野フェンス・ ダッグアウト・管理棟)</p>		
点検評価及び 説明	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる		
	○経年劣化等により修繕が必要とされていた施設や設備の改修を年次計画で行い、安全性と利便性の確保。		
今後の課題及び 改善策・方向性	<p>○市内全地域に多数の体育施設があるが、老朽化等により修繕箇所や修繕費用が毎年増加し、対応しきれない状況が続いている。</p> <p>一方で交付税の削減により更に財政的に厳しく予算措置が困難になってきているので有効な助成事業等活用しつつ、今後は緊急性や安全性、利用頻度の観点等から修繕を必要とする施設の優先順位による整備が求められてくる。</p>		
学識経験者の意見	<p>○本市は社会体育施設が多い。施設の老朽化を適切に把握しながら、緊急性や安全性に意を払い、計画的なスポーツ環境の整備に努めていただきたい。</p> <p>○子どもから高齢者まで、多くの市民がスポーツ活動を行う施設であることを重視し、施設の点検も定期的に行いながら、安心・安全面に十分配慮して進めていただきたい。</p>		

		分野	スポーツ振興部門
項目	(4) プロスポーツチームへの支援とチームとの連携によるスポーツ振興	担当課	スポーツ課
点検・評価対象事業名		・プロスポーツを通じたスポーツ振興事業	
事業の目的		<p>○ホームタウンとして、ブラウブリッツ秋田並びに秋田ノーザンハピネッツを支援するとともに、チームと連携して市民にプロスポーツ選手とのふれあいの場を提供し、夢を持ってスポーツに親しむことのできる態勢を整えるとともに、スポーツを通して地域の賑わいづくりや活性化を図る。</p>	
事業の実施状況		<p>○プロサッカーチーム「ブラウブリッツ秋田」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピッチバナー広告料として50万円を支出し支援。 ・サッカースクールの開催や地域貢献事業を展開。 <p>○プロバスケットボールチーム「秋田ノーザンハピネッツ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Bリーグプレシーズンゲームの開催にあたり、チームPRや大会運営等に協力し、本市でのホームゲーム開催の誘致を図る。また、プロスポーツの素晴らしさを多くの市民に直接肌で感じてもらう。 ・学校訪問やバスケクリニックの開催により、小学生などの子ども達にプロ選手との交流の場を提供。 	
点検評価及び説明	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる	<input type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる	
<p>○夢を持ちスポーツに取り組む子どもたちが、1ランク上の競技レベルに達するためには、プロ選手との直接交流が刺激になると考えている。また、プロの迫力あるプレーを間近で観戦することで、スポーツに親しむ市民は、目標設定や競技力向上に繋がる。さらに、観戦者はスポーツを観る楽しみを経験し、スポーツ振興の推進が図られるとともに、市全体の地域の賑わい創出に結びついた。</p>			
今後の課題及び改善策・方向性	<p>○ブラウブリッツ秋田：H26からJ3加入となり、ホームゲーム開催の全てが秋田市会場となったことから、今後は市内サッカー場との関わり方について、関係自治体とともに検討が必要。</p> <p>○秋田ノーザンハピネッツ：Bリーグホームゲームの由利本荘市開催へ向けて、チームと連携を密にしながら誘致していく。</p>		
学識経験者の意見	<p>○プロスポーツ選手との身近な交流は、子ども達に夢と希望を与え、大きな刺激になっている。今後も是非継続していただきたい。</p> <p>○観戦者が「観る楽しみ」を経験し、それが市全体の地域の賑わいの創出に結びついていることは大いに評価したい。今後「由利本荘アリーナ」に通じることであり、大いに期待したい。</p> <p>○秋田ノーザンハピネッツのBリーグホームゲームの由利本荘市開催へ向け、関係者が連携し、その実現に向けて進めていただきたい。</p>		

		分 野	文化振興部門
項 目	(1) 芸術文化の振興	担 当 課	文化課
点検・評価対象事業名	①芸術鑑賞教室		
事業の目的	<p>○市内に在住する児童・生徒に対し、毎年芸術文化の公演等を鑑賞できるよう、その機会の拡大を図る。</p> <p>○本市立小学校児童および中学校生徒を対象に本物の舞台芸術の鑑賞機会を提供することにより、芸術を愛する心と豊かな情操を養うことを目的とする。</p>		
事業の実施状況	<p>○開催場所：カダーレ</p> <p>*小学校下学年の部（1～3年生） 参加者数：1,708人 ・開催期日：平成29年3月2日（木）～3日（金） 3公演 ・上演作品：人形劇「ちいさいアリババと40人の盗賊」</p> <p>*小学校上学年の部（4～5年生） 参加者数：1,184人 ・開催期日：平成28年9月2日（金） 2公演 ・上演作品：和楽器パフォーマンス「風の又三郎」</p> <p>*小学校6年生の部（劇団四季 こころの劇場） 参加者数：816人 ・開催期日：平成28年10月19日（水） 1公演 ・上演作品：ミュージカル「エルコスの祈り」</p> <p>*中学校の部（1～3年生） 参加者数：1,914人 ・開催期日：平成28年9月8日（木）～9日（金） 3公演 ・上演作品：演劇「杜子春」</p>		
点 検 評 価 及 び 説 明	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる		
	<p>○優れた公演、芸術作品を鑑賞することにより、芸術を愛する心と豊かな情操を養うことが期待される。</p> <p>○市内小学校14校、中学校10校の全児童・生徒を対象に鑑賞会を開催。 こころの劇場は、平成28年度よりにかほ市小学校6年生（6校：215名）が新規に参加。アンケート等で好評を得たため、継続して開催する。</p> <p>○全校がカダーレに会し、本格的なホールでの鑑賞を経験する機会を設ける。</p>		
今後の課題及び 改善策・方向性	○継続開催に努める。		
学識経験者の意見	<p>○にかほ市の子どもを交えたのは、子ども間の交流を深める面からも意義深い。</p> <p>○小学生が、本格的な施設で一流の芸術に触れる機会をもてることは、子どもの豊かな感性を育てるうえでも非常に意義深く、高く評価したい。</p> <p>○この事業は、本市の生涯学習の推進にも通じるものがあることから、是非継続してほしい事業である。</p>		

		分野	文化振興部門
項目	(1) 芸術文化の振興	担当課	文化課
点検・評価対象事業名	②第12回由利本荘美術展		
事業の目的	<p>○様々な分野の芸術文化に出会い、鑑賞できるよう、その機会を創出する。</p> <p>○由利本荘圏域の文化向上のため、住民の美術作家または愛好者のレベルアップを図り、圏域住民の芸術作品への関心を高めることを目的に開催する。</p>		
事業の実施状況	<p>○由利本荘美術展</p> <p>・開催場所：カダーレ ギャラリー1+2+3</p> <p>・開催期日：平成29年2月4日(土)～2月8日(水)</p> <p>・出品者数(作品数)：119名 絵画28、書道35、工芸22、写真34</p> <p>・期間中入場者数：1,540人</p>		
点検評価及び説明	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる		
	<p>○出品者、作品数はほぼ同規模で推移している。</p> <p>○新人の発掘や登用が図られた。</p> <p>○個々の作品の質が高く、総じて展覧会として充実しており、来場者から高評を得た。</p>		
今後の課題及び改善策・方向性	<p>○継続開催に努める。</p> <p>○部門を越えた作家同士の交流により、地域を拠点に活躍する新たな芸術運動や人材育成が期待できるとともに、引き続き新人の発掘に努める。</p>		
学識経験者の意見	<p>○非常に質の高い美術展であり、来場者も多いことから高く評価したい。</p> <p>○素晴らしい作品の数々である。開催期間が短いことも踏まえ、積極的なPRにも努めていただきたい。</p> <p>○今後も高いレベルを維持しながら、併せて新人の発掘にも努めていただきたい。</p>		

		分野	文化振興部門									
項目	(2) 文化財保護活動の推進	担当課	文化課									
点検・評価対象事業名	①鳥海山北麓の獅子舞番楽記録作成事業											
事業の目的	本市とにかほ市に跨がる8団体が「鳥海山北麓の獅子舞番楽」として国記録選択されたことから、この8団体を中心に周辺域の獅子舞番楽を広域的に調査し、記録保存することにより将来へ忠実に保存継承できることを目的とする。											
事業の実施状況	<p>4ヵ年事業の2年目にあたる。国・県補助を受けながら、にかほ市と共同で実施(補助事業者は由利本荘市)。文化庁の指導を受けながら文化庁文化審議会第五専門調査会委員の高山茂氏を中心とする調査委員会を設置し、現地調査を実施。</p> <p>調査対象 鳥海山北麓の獅子舞番楽として記録選択されている「坂之下番楽」「屋敷番楽」「濁川獅子舞」ほかににかほ市内の5団体を中心に、二市内に所在する獅子舞番楽。</p> <p>調査期間 平成28年4月4日～平成29年3月31日</p> <p>調査委員会 鳥海山北麓の獅子舞番楽調査委員会設置要綱に基づき、調査委員5名、調査員3名、特別調査員3名、助言者2名、特別協力者1名、調査補助員(調査対象団体)8名、事務局6名により設置</p> <p>成果</p> <table border="0"> <tr> <td>調査委員会</td> <td>第1回 H28.6.5 (カダーレ)</td> <td>調査計画、調査分担、調査方法</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第2回 H28.8.16 (日新館)</td> <td>調査状況、情報交換</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第3回 H29.2.10 (カダーレ)</td> <td>調査実績、H29 調査計画</td> </tr> </table> <p>現地調査 延べ92回 145人 年度末に調査カード作成</p>			調査委員会	第1回 H28.6.5 (カダーレ)	調査計画、調査分担、調査方法		第2回 H28.8.16 (日新館)	調査状況、情報交換		第3回 H29.2.10 (カダーレ)	調査実績、H29 調査計画
調査委員会	第1回 H28.6.5 (カダーレ)	調査計画、調査分担、調査方法										
	第2回 H28.8.16 (日新館)	調査状況、情報交換										
	第3回 H29.2.10 (カダーレ)	調査実績、H29 調査計画										
点検評価及び説明	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる											
	調査委員会で調査分担を明確にし、にかほ市と共同しながら、調査委員や調査対象団体との調整を行い、目標を上回る現地調査を実施することができた。											
今後の課題及び改善策・方向性	最終年度に予定している調査報告書の刊行を意識しながら、三年次の現地調査を進める。											
学識経験者の意見	<p>○目標を大きく上回る92回の調査。大いに評価したい。</p> <p>○調査に対し理解し、協力していただいた団体に感謝するとともに、継続して記録保存に努めていただきたい。</p> <p>○今回の調査が国指定に繋がるよう期待する。調査の成果に期待したい。</p> <p>○関係者一致協力し、「本海獅子舞番楽」に続く国指定を目指し、民俗芸能の保存と継承に向けた機運を高めていただきたい。</p>											

		分野	文化振興部門
項目	(2) 文化財保護活動の推進	担当課	文化課
点検・評価対象事業名		②文化財公開事業 [佐々木利三郎家住宅]	
事業の目的			
○国有形文化財登録記念として一般公開を行い、広く文化財を周知し、文化財に触れる機会を拡充するとともに、文化財への理解を深め、愛護思想の高揚を図る。			
事業の実施状況			
○国登録有形文化財[佐々木利三郎家住宅]一般公開 ※7月15日答申、11月29日登録原簿登録 ・開催期日 平成28年11月15日(土) ・参加者 300人 ・建造物調査者である秋田公立美術大学教授 澤田 享氏に解説を依頼した。			
点検評価及び説明		<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる	
一般公開の実施により、文化財への理解を深める機会を設けることができたとともに、地域の文化遺産の周知を図ることができた。			
今後の課題及び改善策・方向性			
○市民共有の重要な財産として、所有者と行政がともに協力しながら保護措置を講じる。 ○今後も指定・登録等文化財の一般公開などを行い、本市の文化遺産を活用しながら市民の文化財愛護思想の高揚に努める。 ○文化遺産が所在することにより、地域の文化財保護に関する人材育成及び地域の観光事業等の活性化が期待される。			
学識経験者の意見			
○文化財の国登録、公開を通して、文化財保護意識、愛護思想を更に高めていただきたい。 ○佐々木家に続く、次の歴史的建造物の国登録にも期待したい。 ○文化財情報の公開に努めるとともに、今後行う建造物の一般公開について、更に多くの方が訪れてくれるようPRに努めていただきたい。			

		分野	教育環境整備部門
項目	(1)学校環境適正化の推進	担当課	教育総務課
点検・評価対象事業名		学校環境適正化検討委員会	
事業の目的			
○少子化や施設の老朽化を踏まえ、小中学校の改築や小学校の再編など、本荘地域を中心とする学校環境の適正化に向け市民等の意見を広く伺い、今後あるべき教育環境のあり方について検討する。			
事業の実施状況			
○第3回検討委員会 5月23日(月)			
①本荘地域小学校校舎及び学区視察		③地域住民の意見集約方法について	
②児童生徒数の状況と今後の推移について		④アンケート調査内容(案)の検討	
○第4回検討委員会 6月24日(金)			
①地域住民からの意見集約について			
②中期的な人口推計について			
○第5回検討委員会 12月19日(月)			
①アンケートの結果について			
②意見交換			
○第6回検討委員会 3月17日(金)			
①アンケート自由意見について		④今後の新築及び大規模改修について	
②地域住民からの意見聴取について		⑤大内地域の小学校について	
③学校建設費と年間維持管理費について		⑥北部学校給食センターについて	
点検評価及び説明		<input type="checkbox"/> 目標を上回る	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり
		<input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる	<input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる
○現地視察や参考資料をもとに、本市の現状や課題を確認し、市民からの意見集約として、小中学校、幼稚園、保育園及び未就園児の保護者を対象にアンケート調査を実施し、今後の学校環境適正化に向けて、意見をまとめることができた。			
今後の課題及び改善策・方向性			
○今後さらなる意見集約として、地域懇談会や学校運営協議会のほか、「学校環境を考えるつどい」を中学校区単位に開催するなど、意見交換をしながら、保護者以外にも広く市民の意見を伺う取組が必要である。			
学識経験者の意見			
○学校環境の適正化は、地域づくり、地域振興とも密接に関わっている。慌てず、先を見通す中長期的視点を持って、慎重に進めていただきたい。			
○小規模校の特徴や良い面を活かし、より良い適正な方向に向け、継続して協議・検討していただきたい。			
○「学校環境を考えるつどい」など、継続して市民との意見交換等を行い、共通理解を図る取り組みを行っていただきたい。			

		分野	教育環境整備部門
項目	(2) 学校施設の整備	担当課	教育総務課
点検・評価対象事業名	①西目中学校大規模改修事業		
事業の目的	○「公共施設等総合管理計画」や「学校環境適正化計画」に基づき、築30年以上経過した、老朽化の進む校舎等の大規模改修を行う。		
事業の実施状況	<p>平成28年度事業 校舎棟・屋体棟・食堂棟の大規模改修工事 (平成27年度に実施設計)</p> <p>・西目中学校食堂棟暖房設備改修工事(単独) H28.7.8～H28.9.9 5,220,720円 ・西目中学校大規模改修工事(補助) H29.2.3～H29.10.27 129,293,280円</p> <p>【学校施設環境改善交付金事業】</p>		
点検評価及び説明	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる		
	○食堂棟暖房設備改修工事は予定どおり年度内に完成した。 ○大規模改修工事は交付金内示に伴う発注時期の関係から、年度内完成が難しく、一部繰り越すこととなった。		
今後の課題及び改善策・方向性	○引き続き、児童生徒の安全安心を第一に、学校環境の整備に努めなければならない。		
学識経験者の意見	<p>○国の交付金内示の関係から一年繰り越しになったものの、大規模改修が無事終了したことを評価したい。</p> <p>○老朽化の進んでいる学校が他にも複数あることから、改築のほか、改修による長寿命化など、それぞれの校舎に相応しい適切な方法を見定め、計画的に実施していただきたい。</p> <p>○学校は子どもたちが一日の大半を過ごす学び舎である。安心・安全に過ごすことを第一に計画的に進めていただきたい。</p>		

		分野	教育環境整備部門
項目	(2) 学校施設の整備	担当課	教育総務課
点検・評価対象事業名	②北部学校給食センター整備事業		
事業の目的	<p>○全国的にも学校給食のセンター化が進められている中、本市においても単独校調理場の老朽化が進んでおり、今後、衛生基準等を満たした環境の中で安全安心な給食調理を実施するため、共同調理場（学校給食センター）を整備するものである。</p>		
事業の実施状況	<p>平成28年度事業 基本設計業務</p> <p>○北部学校給食センター建設工事基本設計業務委託 H28.10.21～H29.5.31 5,043,600円</p>		
点検評価及び説明	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる		
	<p>○年度内に完成できず、一部繰り越すこととなった。</p>		
今後の課題及び改善策・方向性	<p>○平成30年度からの建設工事に向けて、実施設計を進めていく。 ○施設の運営方法などについて、学校や関係機関との協議が必要である。 ○今後南部地域学校給食センターの建設に向けた検討が必要である。</p>		
学識経験者の意見	<p>○平成32年の稼働に向け、計画的に進めていただきたい。 ○保護者の不安を解消しながら、丁寧な説明に努め、計画を進めていただきたい。</p>		